

公益社団法人日本地震工学会 第33回理事会議事録

A. 日時：2018年4月16日（月） 16時00分～19時00分

B. 場所：建築会館 308会議室

C. 出席者：（会長）福和伸夫，（副会長）木全宏之，塩原 等，清野純史

（担当理事）田中宏司，佐藤吉之，長島一郎，岩本浩祐，末富岩雄，田村修次，入江さやか，山口 亮，平田京子，高橋章浩，宮腰淳一，中尾吉宏

（監事） 當麻純一

欠席：（担当理事）秋山充良，（監事）飯場正紀

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田薫子事務局員

D. 議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| 1) 第32回理事会議事録（案）の確認（佐藤理事） | 資料 33-01 |
| 2) 会務報告（田中理事） | 資料 33-02 |
| 3) 会計報告（長島理事・岩本理事） | 資料 33-03 |
| 4) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 33-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（山口理事） | 資料 33-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（平田理事） | 資料 33-06 |
| 7) 論文集編集委員会からの報告（末富理事） | |
| 8) 事業企画委員会からの報告（宮腰理事・中尾理事） | 資料 33-07 |
| 9) 事業企画委員会（JEES）からの報告（高橋理事） | 資料 33-08 |
| 10) 事業企画委員会（国際、地震災害対応）からの報告（田村理事） | 資料 33-09 |
| 11) 17WCEE 組織委員会からの報告 | 資料 33-10 |
| 12) 災害レジリエンス研究委員会成果報告会について（清野副会長） | 資料 33-11 |
| 13) 業務執行理事の業務報告について（田中理事） | 資料 33-12 |

議案

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 第1号 入退会者（佐藤理事） | 資料 33-13 |
| 第2号 委員会委員の委嘱と外部委員（田中理事） | 資料 33-14 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（佐藤理事） | 資料 33-15 |
| 第4号 平成29年度事業報告（案）（田中理事） | 資料 33-16 |
| 第5号 平成29年度決算（案）（長島理事・岩本理事） | 資料 33-17 |
| 第6号 次期理事会理事候補者の選出（佐藤理事） | 資料 33-18 |
| 第7号 公益社団法人日本地震工学会第6回社員総会議事次第（田中理事） | 資料 33-19 |
| 第8号 スペシャルアドバイザー登録申請（佐藤理事） | 資料 33-20 |

懇談事項

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1) 社員総会の運営分担について（佐藤理事） | 資料 33-21 |
| 2) 部会・委員会等の引継ぎについて（佐藤理事） | 資料 33-22 |
| 3) 次期への申し送り事項（田中理事） | 資料 33-23 |

報告事項

1) 第 32 回理事会議事録（案）確認

- ・ 佐藤理事より資料 33-01 に基づいて第 31 回理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。

2) 会務報告

- ・ 田中理事より資料 33-02 に基づいて会務報告の説明が行われた。
- ・ 各部会、委員会で、これら以外に行った活動があれば、総務理事まで連絡する。

3) 会計報告

- ・ 長島理事より資料 33-03 に基づいて平成 29 年度予算および実績について説明が行われた。また、平成 30 年度予算原案についての説明が行われた。
- ・ 30 年度は黒字決算となり、旅費交通費が計画よりも少なかったことなどが寄与している。
- ・ 平成 29 年度は本来 JEES の予算で見るとべき予算を当学会の予算で処理している。その約 48 万円を JEES 側が当学会の予算から借りているということを認識しておく必要がある。

4) 広報部会からの報告

- ・ 資料 33-04 に基づいて入江理事から説明が行われた。今後の企画で、開催を周知したい団体があれば、入江理事まで伝えるようにする。その情報に基づいて、今後周知先リストを作成して、活用を考える。
- ・ 広報マニュアルも今後整備する予定である。

5) 情報コミュニケーション委員会からの報告

- ・ 山口理事より資料 33-05 に基づいて前回理事会以降の活動について説明が行われた。JAEE News No.323, No.324 を発行した。また Newsletter 第 20 号(4 月末公開)の作成を進めている。
- ・ Newsletter の発行回数については会誌編集委員会と連携して次年度も検討を継続する。

6) 会誌編集委員会からの報告

- ・ 平田理事より資料 33-06 に基づいて会誌 No.34 の内容の説明、会誌 No.35 の編集スケジュールについて説明が行われた。会誌 No.34 は南海トラフ地震の特集となっている。
- ・ 会誌、Newsletter の発行回数については IC 委員会と連携して次年度も検討を継続する。

7) 論文集編集委員会からの報告

- ・ 末富理事より平成 29 年度の投稿論文数等について報告が行われた。

8) 事業企画委員会（企画）からの報告

- ・ 宮腰理事より資料 32-07 に基づいて、報告が行われた。南海地震シンポジウムはやや赤字となった。資料残部が約 50 部あり、それが売れば黒字になる可能性があるため、告知する。
- ・ 資料については今後、記者クラブなどに配布すれば PR になるので、広報と委員会と相談して活用する。
- ・ 企画の準備期間については、今後、課題として検討する。

9) 事業企画委員会（JEES）からの報告

- ・ 資料 33-08 に基づき、高橋理事により JEES の準備状況についての説明が行われた。ポスターを作成中であり、4 月に配布予定である。
- ・ 技術展示については今後申込み件数がより増加するよう方策を検討する。

10) 事業企画委員会（国際、地震災害対応）からの報告

- ・ 資料 33-09 に基づき、田村理事から説明が行われた。6 月に防災学術連携体の総会および連絡会があり、その概要と田村理事が対応することが報告された。
- ・ 各学会からの報告が予定されており、当学会としては昨年度実施した南海トラフシンポジウム

の概要および会誌の目次等の紹介を行うようにする。また、17WCEE についても記した方が
良いという意見が挙げられた。

11) 17WCEE 組織委員会からの報告

- ・ 中埜委員長作成の資料 33-10 に基づいて、準備の進捗状況について福和会長から説明が行われた。
- ・ 組織委員会を立ち上げ、ほぼ委員も決まった。震災対策技術展も連携して同時開催する予定となっている。
- ・ 開催前に必要となる資金（前払金等）については当学会でも把握しておくようにする。

12) 災害レジリエンス研究委員会成果報告会について

- ・ 資料 33-11 に基づき、清野副会長から 5 月開催予定の同報告会の説明が行われた。参加応募がまだ少ない状況であり、担当委員会と連携して、広報委員会も協力して PR を図ることにする。

13) 業務執行理事の業務報告について

- ・ 田中理事から業務執行理事については理事会で業務行う必要があることの説明あった。ただし、会長・副会長については資料等に基づく説明が無かったとしても、関連する業務について意見を述べているので、報告を行っていると思なせる。

議案

第 1 号 入退会者・会費未納者

- ・ 資料 33-13 に基づいて、佐藤理事から入退会者の報告がなされた。正会員の入会者 9 名、学生会員の入会者 1 名について異議なく議決された。また正会員の退会者 17 名、学生会員の退会者 9 名について異議なく議決された。

第 2 号 委員会委員の委嘱と外部委員

- ・ 資料 33-14 に基づいて、田中理事から学会内委員の委嘱、交代、任期延長および外部委員会委員の嘱託についての説明が行われ、異議なく議決された。

第 3 号 共催・後援・協賛等

- ・ 資料 33-15 に基づいて、佐藤理事から共催 2 件、後援 3 件における名義使用依頼についての説明が行われ、異議なく議決された。

第 4 号 平成 29 年度事業報告（案）

- ・ 資料 33-16 に基づいて、田中理事から平成 29 年度の事業方向（案）の説明が行われ、異議なく議決された。
- ・ ただし、各理事で担当部分について最確認を行い、修正があれば事務局まで連絡する。

第 5 号 平成 29 年度決算（案）

- ・ 資料 33-17 に基づいて、長島理事から平成 29 年度の決算（案）の説明が行われ、異議なく議決された。

第 6 号 次期理事会理事候補者の選出

- ・ 資料 33-18 に基づいて、佐藤理事から次期理事候補者について説明が行われた。資料では未定となっている事業（企画）理事については、現理事の宮腰理事が継続して候補者となる。以上について異議なく議決された。

第7号 公益社団法人日本地震工学会第6回社員総会議事次第

- ・資料 33-19 に基づいて、田中理事から社員総会での議事次第についての説明が行われ、異議なく議決された。
- ・各理事は関与する箇所について当日までに確認をお願いしたい。

第8号 スペシャルアドバイザー登録申請

- ・資料 33-20 に基づいて、スペシャルアドバイザー申請（1件）について説明が佐藤理事から行われ、異議なく議決された。
- ・承認については、事務局から申請者に連絡することにする。その際、現在スペシャルアドバイザー制度の見直しを行っていることについても伝えることとする。

懇談事項

1) 社員総会の運営分担について（佐藤理事）

- ・資料 33-21 に基づいて、社員総会の運営分担について確認、検討を行った。

2) 部会・委員会等の引継ぎについて（佐藤理事）

・資料 33-22 に基づいて、社員総会および次回理事会までのスケジュール、各部会、委員会内での引継ぎについて説明が行われた。

- ・引き継ぎの際には、関連する規定・規則・細則等の確認も行って欲しい。

3) 次期への申し送り事項（田中理事）

- ・資料 33-23 に基づいて、田中理事から次期への課題等について説明が行われ、検討を行った。
- ・特に、17WCEE の確実な準備・運営、シンポジウム等の企画の活性化、事務局体制の見直し等が重要であることが確認された。

次回予定：第34回理事会 平成30年6月22日（金）16時～19時

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成30年4月16日

議長 福和 伸夫

監事 當麻 純一